

2008
清流保全
副読本

守り育てよう! わたしたちの川



小学校			氏名
4年組	5年組	6年組	

はじめに

岡山県は吉井川、旭川、高梁川という三つの大きな川をはじめ、水の豊かなところです。昔はどの川でもきれいな水が流れていて、たくさんのかどもたちが泳いだり、遊んだりしていました。

しかし、人々のくらしが変わり、開発が進むにつれて、水のよごれが進んだり、水辺の生き物や草花が減ってきたりしています。

川は、わたしたち人間だけでなく、そこにすむ生き物や水辺の草花にとっても大切なものです。その大切な川について学び、わたしたちができるることを考えてみましょう。



もくじ

川から学ぼう!

- | | |
|---------------------|---|
| 1 水辺ウォッチングに挑戦してみよう! | 3 |
| 2 川の中の生き物を探してみよう! | 5 |
| 3 水辺の植物・野鳥を探してみよう! | 6 |
| 4 川原の石を観察してみよう! | 7 |
| 5 身近な川の水を調べてみよう! | 8 |



アユモドキの
「アユモ」



まもるくん

川について学ぼう!

- | | |
|-----------------------|----|
| 6 地球上の水について学ぼう! | 9 |
| 7 森林のはたらきについて学ぼう! | 11 |
| 8 くらしと川とのかかわりを調べてみよう! | 13 |

川のために学ぼう!

- | | |
|-------------------------|----|
| 9 わたしたちのくらしを見直そう! | 15 |
| くらしの見直しチェックシート | 17 |
| 水調べシート | 18 |
| 10 清流の生き物を守り育てよう! | 19 |
| 11 岡山の清流について学ぼう! | 20 |
| 12 清流を守るために取り組みについて学ぼう! | 21 |



きよみちゃん

川から学ぼう!

ここ(p.3~8)では、^{みちか}身近な川に行き、いろいろな活動をして、川や水辺の生き物・石などから川のようすを見てみましょう。

1 水辺ウォッチングに挑戦してみよう!

家や学校の近くの水辺に出かけて、見たもの、聞いたこと、感じたことをまとめ、水辺マップを作ってみよう。



注意事項

- おとなのといっしょに行こう。
- 水の流れのはやいところ、深みのあるところへは、近よらないようにしよう。
- 雨が降ったら水かさが増えるので川から出よう。
- 夏はぼうしをかぶろう。
- はだしで水に入らないようにしよう。
(ぬれてもいいくつ、かかとがとめられるサンダルなど)
- 生き物や草花をむやみにきずつけないようにしよう。
- ごみは持ち帰ろう。

かならず
まもってね！





水辺マップの作り方

① 近くの水辺がのっている白地図か模造紙で作った地図を用意する。

② 地図を持って水辺を歩き、気がついたことを地図か下のらんに書きこむ。

③ 地図などに書きこんだことをまとめたり、写真をはったり、色ぬりをして、自分たちのマップをしあげよう。



水辺マップを描いてみよう！

ヒント：水の中で見つけた生き物、水辺で見つけた生き物、草花、近くでくらしている人に聞いた話など

川の名前	川
場所	
日時	年 月 日() :
天気	はれ くもり あめ (○で囲む)
用意するもの	チェック
守り育てよう！わたしたちの川（この本）	
筆記用具	
あみ	
バケツ	
虫かご	
あつたらべんりなもの	
○双眼鏡	○虫めがね ○カメラ ○温度計 など



例を見ながら水辺のようすや感じたことを書きこもう！

2 川の中の生き物を探してみよう!

川の中にはたくさんの生き物がすんでいます。石のうらや、水草の根を探してどんな生き物がいるか調べてみよう。見つけた生き物で水のよごれがわかるよ。



◆調べる川

川の名前		川
場所		
日時	年 月 日() :	
天気	はれ くもり あめ (〇で囲む)	
用意するもの		チェック
守り育てよう! わたしたちの川 (この本)		
筆記用具		
あみ		
バケツ		
虫めがね		
ピンセット		
水にぬれてもいいくつ		
ゴム手袋		



◆見つけた生き物の□にチェック(✓)を入れよう。

◆こんなところで探してみよう

- 深さがひざぐらいまでのところ
 - 流れがあるところ
 - 川底にこぶし大からあたま大の石が多いところ

◆生きものの調べ方



調べたいところの下流
がわ
側にあみをおき、あみの
前の石をバケツなどに
とる。



石をとったあとの川底
を足でかきまぜて、流れ
てくる生き物をあみで
受け取る。



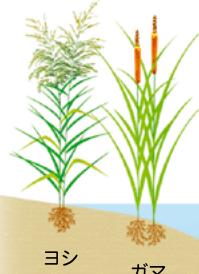
石にくついている生き物やあみでとった生き物を集めて観察し、種類ごとに分ける。

3 水辺の植物・野鳥を探してみよう!

水辺には草花がいっぱい、野鳥もたくさんすんでいます。みんなの近くの水辺のようすはどうかな?



◆見つけた草花・野鳥の□にチェック(✓)を入れて、ひづき・きゆうを記入しよう。



水中の植物

ササバモ オオカナダモ

ヨシ ガマ

光がないと育たない

水中や水の上で見つけられる植物



浮いている水草

ヨシ	□ [/]	ガマ	□ [/]	ササバモ	□ [/]	オオカナダモ	□ [/]	ヒシ	□ [/]	ホテイアオイ	□ [/]
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]

上流で見られる鳥



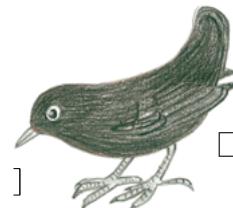
□ [/]

ヤマセミ



□ [/]

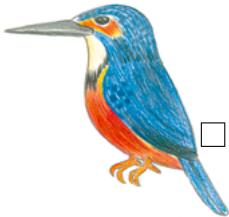
ミソサザイ



□ [/]

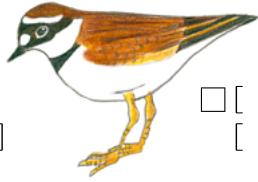
カワガラス

中流で見られる鳥



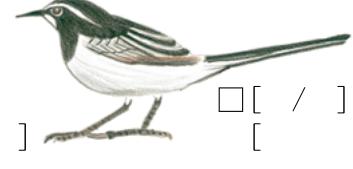
□ [/]

カワセミ



□ [/]

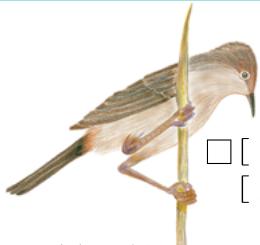
コチドリ



□ [/]

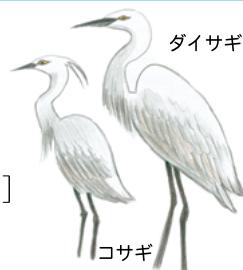
セグロセキレイ

下流で見られる鳥



□ [/]

オオヨシキリ



ダイサギ

□ [/]

コサギ



カルガモ

□ [/]



◆左ページ(p.5)で調べた川の水のきれいさを判定してみよう!(○で囲む)
どこにいちばん多くチェック(✓)がついたかな?

たいへんきれい

きれい

少しよごれている

よごれている

4 川原の石を観察してみよう!

かんさつ
川のようすを観察すると、かわぎしにかけが見られたり、川原が見られたりします。

かんさつ
川の水は、土地をけずったり、石や土などを流したり積もらせたりするはたらきがあります。



大雨の後の川のようす

これらの石は
どこから来たのかな?

ちいき
川原には、地域の土地をつくる石が集まっています。川原の石を調べると、土地のつくりやなりたちを知る手がかりになります。

岡山県の川原でよく見かけられる石



花こう岩

マグマが、地下で冷えてかたまつてできた石



石灰岩

海の生き物の死がいが、かたまつてできた石



結晶片岩

ねつ あつりょく
熱や圧力を受けて作り変えられてできた石

1-2cm



川原で見つけた石のスケッチを描いてみよう!

石の名前やでき方を図鑑で調べたり、先生にたずねたりしてみよう!

川原の場所	
石の名前	
でき方など	
<hr/> <hr/> <hr/>	

石のスケッチ

5 身近な川の水を調べてみよう!

(1)流れのはやさを測ってみよう!



流れのはやいところ、深いところではしないようにね。
3ページの注意事項をもう一度読んでみてね。

流れのはやさの測り方

- 1 長さ3m以上の細いひもの先にピンポン玉など水に浮くものをくっつける。
- 2 水面近くで浮きをはなし、ひもがピンとなるまでの時間はかをストップウォッチで計る。
- 3 例えば、3mのひもを使って15秒であれば、はやさは、 $300(\text{cm}) \div 15(\text{秒})$ で秒速20cmとなる。

めやす

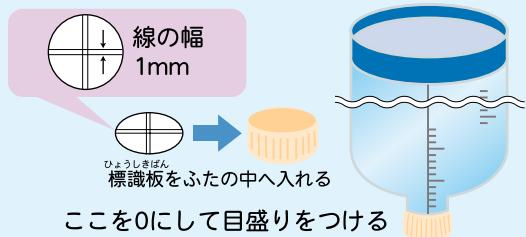
はやさ	流れのはやさのめやす
おそい	1秒間に30cm以下 <small>い か</small>
ふつう	1秒間に30~60cmくらい
はやい	1秒間に60cm以上 <small>い じょう</small>

調べて記入してね!

日付け	場所	はやさ
/		
/		
/		

(2)透視度を測ってみよう!

透視度とは、水の透明さの程度を示すものです。この数値が大きいほど透明であり、小さいほど濁っていることを示します。



ペットボトルの切り口には気をつけてね。
テープを貼るとあぶなくないよ!
きれいな水を測るときは
ペットボトルをつなぎ合わせよう。



牛乳パックのような水に強い紙に二重十字を書いて標識板をつくり、ふたの中に入れます。
測る水をペットボトルで作った透視度計に注ぎ、透視度計の底に書いた標識板の二重十字が見えなくなったときの水の高さ(cm)を読みます。それがその水の透視度です。

川の透視度のめやす

とてもすんでいる.....	1m以上
すんでいる.....	50cm
にごっている.....	15cm
とてもにごっている.....	5cm

調べて記入してね!

日付け	場所	透視度
/		
/		
/		
/		
/		

川について学ぼう!

ここ(p.9~14)では、川の水がどこから來るのか、どのように使われているか、水のゆくえや、森、人の生活とのかかわりなどについて考えてみましょう。

6 地球上の水について学ぼう!

(1)大切な水

「水の惑星」といわれる地球ですが、その水の約97.5%は海水などで、その他の水(「陸水」という。)は約2.5%にすぎません。しかも陸水のほとんどは南極や北極の氷で、わたしたちが比較的容易に利用できる水は川、湖などでわずか0.01%しかありません。

地球の水資源

海水:97.47%

川・湖など:0.01%

水河:
1.76%

地下水:0.76%

渴水ってなに?

長い間雨が降らなかつたりして、
使える水が足りなくなること
を渴水といいます。

渴水で干上がった湖(タイ)
写真提供:(株)ユニフォトプレス



生活に欠かす
ことのできない水が不足
するとどんな影響が
あるのかな?



(2)恵まれている日本の水

わたしたちが、日常生活の中で当たり前のように使っている水道や井戸の水ですが、日本のように安全な水を自由に利用できる国は多くはありません。

とりわけ、水道の水をそのまま飲むことができる国は世界でもごくわずかです。

外国には、水道が整備されていない地域や井戸が近くにない地域もあり、そこでは水くみに多くの労力、時間を費やしています。



水くみをすることも(アフリカ)

写真提供:大野篤志

(3)水の循環 ~水はどこから来て、どこへ行くのだろう~

川の流れは、山の中のわき水からはじまります。山に降った雨は地下にしみこみ、たまってわき水となり地上に出ます。山の中のわき水は集まり、湖、ダム、川、用水路、地下を通って海に出ます。海に出た水は、太陽にあたためられて蒸発し、雲になります。雲はやがて雨になって地上に降り、ふたたび山のわき水になります。これを「水の循環」といいます。

このような水の循環のあいだに、地下にしみこんだり、水辺の植物や生き物のはたらきで、きれいな水にもどっていきます。これを「自然の浄化機能」といいます。



水の行き先を矢印でたどってみよう！

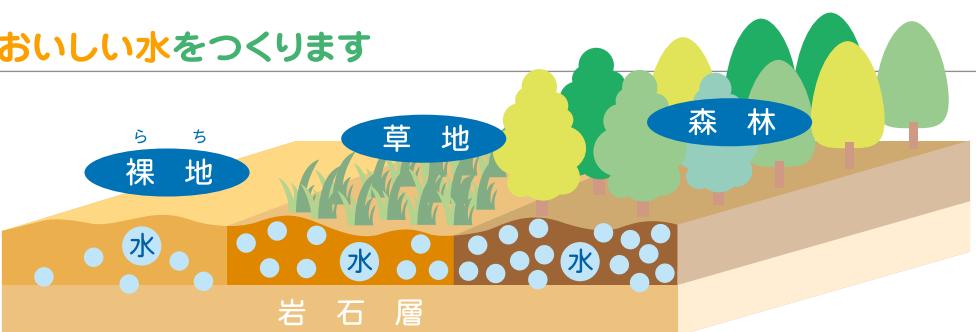


気づいたこと、感じたことを自由に書きこもう！



7 川とのかかわりが深い森林のはたらきについて学ぼう!

▶ 森林は、おいしい水をつくります



森林の落ち葉の下には、スポンジのようなふわふわの土があり、この中に雨水がたまり、ゆっくり時間をかけて流れ出でていきます。雨が土や岩の間をゆっくり流れるうちに、ミネラル分が豊富なおいしい水になるのです。この水が川や海の魚や海草なども育てています。

▶ 岡山県の面積の約70%は森林です

岡山県の森林は、県木(県を代表する木)のアカマツの林やコナラ林、シイやカシなどの常緑広葉樹林(一年中緑色ではばの広い葉をつける樹木の林)、スギやヒノキの人工林、四季おりおりの変化に富んだブナ林などさまざまな木々で構成されています。



◆岡山県の森林の面積の内わけ(平成18年)



▶ 岡山県には豊かな森林がたくさんあります

県内10か所の「美しい森」では、植樹(木を植えること)など実際の活動を通じて森林の豊かさや大切さを実感することができます。

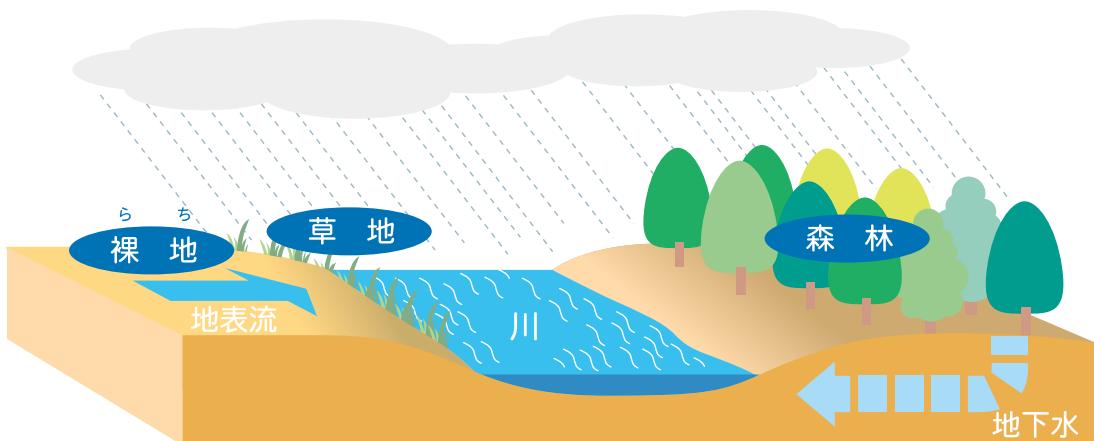


岡山県は、きれいな川と美しい森林にめぐまれたとてもいいところだよ。



県内の「美しい森」

▶ 森林は、ダムの役目をします



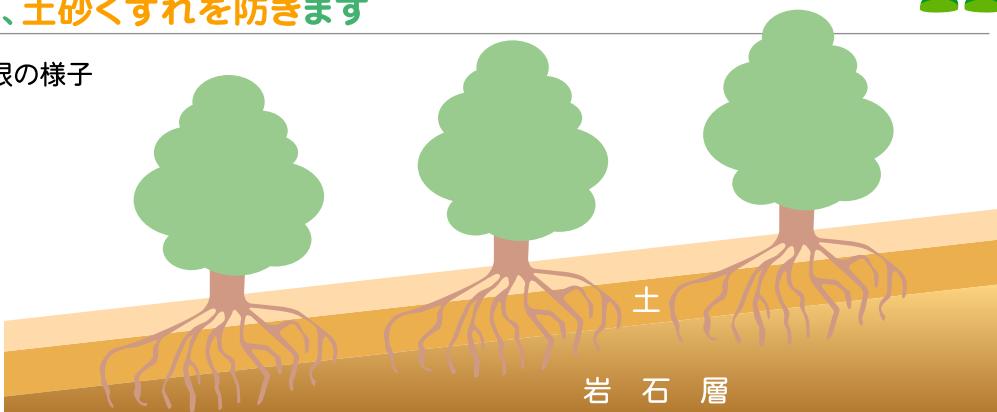
森林に降った雨は、すぐに川に流れこまず、地下にしみこみ、ゆっくりと川に流れこみます。

このように、森林は水をためるダムのようなはたらきをして、大雨の時の洪水を防ぎます。また、しばらく雨が降らなくても、しみこんだ水が少しずつしみ出てきて川に流れこむので、川の水がなくならないのです。



▶ 森林は、土砂くずれを防ぎます

●樹木の根の様子



木の根は地中に深く伸び、岩の割れ目まで入りこみます。土と岩とのさかい目を、根がしっかり固定していくので、土砂くずれが起こりにくくなります。

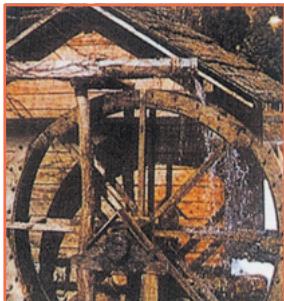


気づいたこと、感じたことを自由に書きこもう！

8 くらしと川とのかかわりを調べてみよう!

●昔のくらしと川

昔から、川は炊事や洗たく、ふろなどに利用され、くらしに欠かせないものでした。また、農業用水や水路などとして、地域の産業を支えてきました。
水辺は祭りや遊びの場所として、人が集まり、そこからさまざまな文化を生み出してきました。



水車

川の流れを利用して水車が動き、米、麦の精白などに利用されていました。



使い川(川内ともいう)

川沿いのほとんどの農家に造られていきました。ここで、洗たくや野菜洗い、ふろの水くみをしていました。



昔の田植えのようす



高瀬舟

川上と川下を往復し、人やものを運んでいました。

地域のことをよく知っている人にたずねてもいいね。



地域の人にたずねてわかったことを書きこもう！

●今のかくしと川

わたしたちのかくしは、昔と比べると便利で豊かになりました。そのかわり、わたしたちは川の水を飲み水や農業用水・工業用水として利用し、よごれた水を大量に川へ流すようになりました。また、かくしを便利にするために道路や建物を造ったり、山を切り開いたり、川の流れを変えたりするなど、自然にさまざまな変化をあたえるようになってきました。

水道水としての利用

浄水場で飲めるようにしてから、飲み水に利用されています。

農業用水としての利用

稻や野菜などを育てる水として広く利用されています。

工業用水としての利用

工場で使う目的にあわせて利用されています。

水田へ水を送っているところ



今の田植えのようす



下水処理場

わたしたちが家や学校などで使ったあとによごれた水や、工場などから出たよごれた水を集めて、きれいにしてから川や海へ流しています。

気づいたこと、感じたことを自由に書きこもう！



川のために学ぼう!

ここ(p.15~22)では、清流にすむ生き物や川の環境を守り、よりよくするために、わたしたちにできることを考え、できることからやってみましょう。

9 わたしたちのくらしを見直そう!

清流は、わたしたちの豊かなくらしにとってとても大切なものです。清流を守り育てるために、わたしたちにできることを考えてみよう。

 17ページが「くらしの見直しチェックシート」になってるよ。

台所などでできる生活排水対策

キッチン



ちょうり
流しから調理くずを
流さないようにしましょう

三角コーナーやストレーナーには水きりネットなどを付け、細かいくずまで取りましょう。また、流し台のゴミはこまめに取り除くようにしましょう。



しょっき 食器などのよごれは、キッチンペーパーやゴムべらで拭いてから洗いましょう

使い古しの油を
流さないようにしましょう



天ぷら油は、油こし紙などでよごれを取り除き、何回か繰り返し使いましょう。やむをえず捨てる時は、古紙やぼろ布などに染み込ませたり、市販の油固化剤などを使ってゴミとして出しましょう。



じる うえ き
米のとき汁は植木などにまいて、
利用しましょう
せつやく 水の節約にもなるし、一石二鳥だね。

ダイニング



たのこ 食べ残し、飲み残しの
ないようにしましょう
りょうり 料理は食べ残しのない
分量を作りましょう。



洗たく



せんざい 洗剤は正しく量って
使いましょう

せんざい 洗剤の洗う力は、一定量以上
あら はあまり差がありません。正しい量を使えば、経済的だし、
いっていりょう いじょう 環境にもやさしいね。

バスルーム



シャンプーなどを使いすぎ
ないようにしましょう



ゆ せん ふろの残り湯は洗たくなどに
きり りょう 再利用しましょう

ゆ せん ふろの残り湯を洗たくに使えば節水にもなるし、水温が高い(20~40°C)から、少ない洗剤でよごれが落ちるね。

天ぷら油を流したら
たいへんなことになるよ。
ぜったいしないでね。



か て い 家庭から出るよごれの例

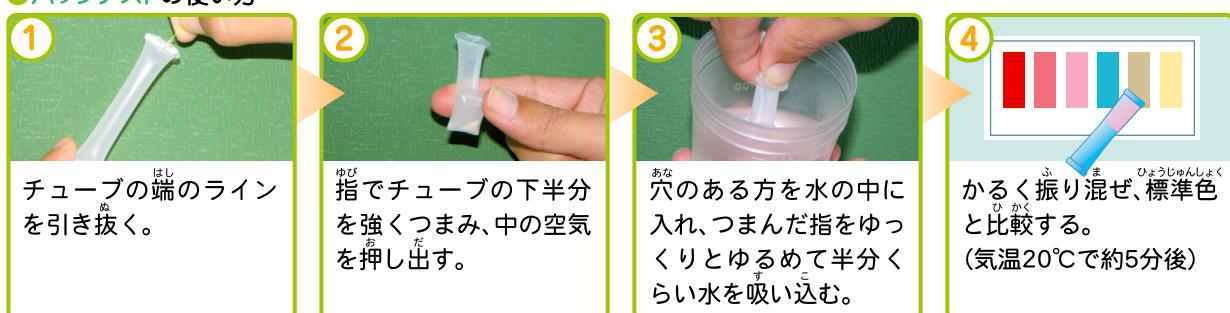
もしこれだけ流したら

さかな すいしつ ひつよう りょう よくそう なんぱいぶん
魚がすめる水質にするために必要な水の量は浴槽(300ℓ)何杯分?

使用済みの天ぷら油(200ml)	×20	200杯
マヨネーズ (大さじ1杯 15ml)		13杯
みそ汁 (1人前 200ml)		4.9杯
米のとぎ汁 (1回目 500ml)		4杯
ラーメンのスープ (1人前 200ml)		3.6杯
ソース (大さじ1杯 15ml)		1.4杯
洗たく洗剤 (1回分 40g)		3.3杯
シャンプー (小さじ約1杯 4.5ml)		0.7杯

家中の中やまわりの水のよごれぐあい(COD)を調べてみよう! 18ページが「水調べシート」になってるよ。

●パックテストの使い方



か がく てき さん そ よう きゅう りょう

COD(化学的酸素要求量)ってなに?

水のよごれを表す代表的な指標で、水に含まれているよごれを化学試薬で酸化するときに必要な酸素の量。
数値が大きいほど、よごれていることを示す。

くらしの見直しチェックシート

～川にやさしい生活ができるかな?～

チェックのし方

実施期間

一週間の期間を決めて、各項目が実践できた回数を記入する。

年 月 日～ 年 月 日

①三角コーナーやストレーナーに水切りネットをつける	できた回数 <input type="checkbox"/>
②よごれのひどい食器はキッキンペーパーなどでふきとってから洗う	できた回数 <input type="checkbox"/>
③使い古しの油は流さずにきちんと処分する	できた回数 <input type="checkbox"/>
④米のとぎ汁は植木などにまいて再利用する	できた回数 <input type="checkbox"/>
⑤食べ残し、飲み残しをしない	できた回数 <input type="checkbox"/>
⑥洗剤を正しく量って使う	できた回数 <input type="checkbox"/>
⑦シャンプーなどを使い過ぎない	できた回数 <input type="checkbox"/>
⑧ふろの残り湯を洗たくなどに再利用する	できた回数 <input type="checkbox"/>
⑨地域のせいそう活動に参加する	できた回数 <input type="checkbox"/>



やってみた感想

水調べシート

～パックテストで調べよう！～

1. 家の中や家のまわりの水のCODをはかってみよう！

CODが低い順(川などに流れた場合、元にもどりやすい順)に番号をつけてみよう。

〈家の中の水〉

調べた水(の種類)	COD	順位

例▶ふろの水、洗たくの水、ジュースなど

〈家のまわりの水〉

調べた水(の種類)	COD	順位

例▶川、用水路、排水路、みぞ、田んぼなど

2. 家のまわりの水を調べたところで見つけた生き物のようすなどを、絵や文字で自由にかいてみよう！

※イラスト例：ザリガニ



家のまわりの川の中の
空きびくの中で見つけた

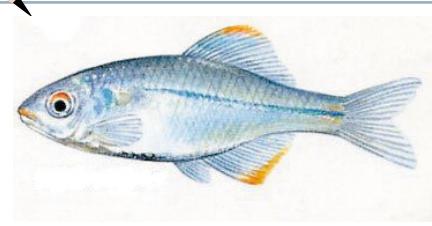
10 清流の生き物を守り育てよう!

川や湖には、開発によるすみかの減少や環境の悪化によって、数が少なくなっている生き物も少なくありません。ここでは、その代表的なものを紹介しましょう。

ぼくたちを見つけたら川に戻してね。
そのほかの大切な生き物についても
調べてみよう。



見つけたら、場所と日付けを記録しておこう!



見つけた場所

名 前

スイゲンゼニタナゴ

種 類

[コイ科]

体 長

4~5cm

タナゴのなかまのうちもっとも小さい。岡山県の南部と広島県東部だけに点々と分布。イシガイ、マツカサガイなどの二枚貝に卵を産み付ける。長い青色のラインが特徴。



見つけた場所

名 前

オオサンショウウオ

種 類

[オオサンショウウオ科]

体 長

50~120cm

世界最大の両生類。西日本のおもに山地の渓流にすむ。夜行性で、サワガニやカエル、魚などを食べる。

もともと日本にいなかった魚・植物



体長:40cmくらい

1925年に北アメリカから神奈川県芦ノ湖につりや食用のためにもちこまれ、各地に広まっている。他の魚を食べるのでもともといふ魚に影響をあたえている。



体長:15cmくらい

1960年に北アメリカからもちこまれ、各地に広まっている。他の魚の卵を食べるのでもともといふ魚に影響をあたえている。



明治時代のはじめに南アメリカから観賞用にもちこまれた。川や湖の水面をおおうほど大繁殖して問題になったこともある。



明治時代に北アメリカから観賞用にもちこまれ、第二次世界大戦後、全国に広がった。ほかの植物がいなくなるほど強い繁殖力をもつ。



気づいたこと、感じたことを自由に書きこもう！

11 おかやまの清流について学ぼう!

岡山県には美しい清流がたくさんあります。ここでは、その中の一部を紹介します。ここに掲載されていないところはホームページ「おかやまの清流」で調べてみよう。

ホームページアドレス:<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kankanri/seiryu/seiryu.htm>

また、県内の水のきれいな川や水路ではホタルを見つけることができます。

ここでは、ホタルの名所をいくつか紹介します。ホタルさがしにでかけてみよう！



- ① 宇内ホタル公園
(小田郡矢掛町)
- ② ホタルの里 大宮地域
(岡山市西大寺一宮)
- ③ 北房ほたる公園(真庭市下呂部)
- ④ 倉見川広瀬橋付近(津山市加茂町)

ホタルってどんな生き物？

水中でくらす幼虫はカワニナという巻貝を食べて大きくなり、4~5月に川の土手にあなをつくって、さなぎになります。夏のはじめにさなぎから成虫になります。お尻を光らせてとびまわります。成虫になってからは夜露を飲むだけで、何も食べません。また、成虫は1~2週間しか生きられないといわれています。



12 清流を守るために取り組みについて学ぼう!

わたしたちの大切な清流を守り育てるために、みんなが力をあわせて、さまざまな活動に取り組んでいます。

身近な川の健康診断



お問い合わせ先

岡山県環境管理課

電話: (086) 226-7301

水の大切さを学ぶため、身近な川にすむ生き物の調査やパックテストを実施する「身近な川の健康診断」を県内各地の小学校で実施しています。

H19実施場所…

ホタルの保護活動



お問い合わせ先

高梁市立福地小学校

電話: (0866) 42-2538

URL:<http://www.kibi.ne.jp/~sirochi/>

ホタルの生態についての学習のほか、せいそう活動、水質検査などにもはば広く取り組んでいます。平成16年度環境省「こどもホタレンジャー」優秀校に選ばれました。

川レンジャー



お問い合わせ先

県立矢掛高等学校

電話: (0866) 82-0045

URL:<http://www.yakage.okayama-c.ed.jp/>

ホタルやスイゲンゼニタナゴの保護・増殖活動や「やかげポケット水族館」の管理を行っています。また、川に生き物がすみやすくなるよう、環境の調査やせいそう活動などにも取り組んでいます。

ダルマガエルの保護活動



お問い合わせ先

倉敷市立真備東中学校

電話: (0866) 98-5522

環境学習の一環として絶滅のおそれのあるダルマガエルの保護・調査活動に取り組んでいます。

(県指定平成16,17年度環境学習推進校)

環境保全研究助成

高等学校、中学校の生徒が行う清流保全に関する調査や研究などの活動に対して、資料や資材の提供、調査研究に対する協力をしています。



環境学習相談・器材の貸出し





お問い合わせ先

岡山県環境保健センター

電話: (086) 298-2681

URL: <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kanpo/kanpo.htm>

水に関する環境学習の相談や水質調査・水生生物調査などの器材及び図書の貸出しを行っています。

「おかやまアダプト」推進事業



お問い合わせ先

アダピー

くわしくは次のURLをごらんください。

<http://www.pref.okayama.jp/doboku/dosei/adopt/ad1.htm>

岡山県では、住民のみなさんと県・市町村が手を取り合って、美しく快適な川を育てていくため、「おかやまアダプト」推進事業をおこなっています。「アダプト」とは、川を県民みんなの「こども」にたてて大切にしていく制度のこと。川のゴミひろいや草刈りをおこなう地域の団体に対して、県や市町村がそうじ道具などを援助しています。今では、県下の川で500を超える団体がゴミひろいなどをおこなっており、活動の輪がどんどん広がっています。

「多自然川づくり」



お問い合わせ先

くわしくは次のURLをごらんください。

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=3453

生き物のすみやすい川や自然を守り育てるため、川の工事の時には、もとあつた川のすがたに近づけるよう「多自然川づくり」を行っています。大雨の時に川があふれないようにしながら川の生き物が、かくれる場所をつくったり、気軽に川に入って生き物の様子を観察できるように川において斜面をゆるやかにしたりしています。

参考 清流についてもっと調べよう！

かんれん
清流に関するホームページを紹介します。

○おかやまの環境

<http://kankyo.pref.okayama.jp/kankyo/home/Home!Index.do>
清流、湖沼、自然環境など環境に関する情報を掲載

○岡山県自然保護センター

<http://homepage3.nifty.com./OPNACC/>
タンチョウサギ設施、湿生植物園などの情報を掲載

○国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所

<http://www.okakawa-mlit.go.jp/>
吉井川、旭川、高梁川についての情報を掲載

○全国水生生物調査

<http://w-mizu.nies.go.jp/suisei/suisei.html>
調査への参加方法などの情報を掲載

○日本野鳥の会岡山県支部

<http://www.1.harenets.ne.jp/~wbsjokym/>
岡山県内の野鳥に関する情報を掲載





わたしはアユモドキ。ドジョウのなかます。
アユに似たかっこうをしているので、この名前
がつきました。

わたしたちは、岡山県の川と、琵琶湖や淀川
の一部だけにすんでいる、めずらしい魚です。

今ではすっかり数が減ってしまったので、国
の天然記念物に指定されています。



アユモドキ 体長(成魚の平均) 15cmくらい

清流保全副読本「守り育てよう! わたしたちの川」編集委員会

岡本 弥彦 麻布大学環境保健学部教授
中村 光志 岡山市立浦安小学校教諭
東 宏明 岡山市立芳泉小学校教諭
安東 一郎 岡山市立建部小学校教諭
樋尾 奈奈 倉敷市立長尾小学校教諭
船越 博昭 新見市立刑部小学校教諭
難波 光広 真庭市立落合小学校教諭
伊藤 清実 岡山県環境保健センター企画情報室企画情報科科長(H17)
藤岡 敏修 岡山県環境保健センター専門研究員(H18)
高尾 敏也 岡山県教育庁指導課指導主事
柴原 靖彦 岡山県教育庁生涯学習課総括参事(H17)
藤井 肇 岡山県教育庁生涯学習課総括副参事(H18)
高田 依信 岡山県生活環境部環境管理課課長(H17)
安藤 勤 岡山県生活環境部環境管理課課長(H18)

(所属・職名は編集当時)



◆発行 平成20年3月
◆この冊子に関するお問い合わせ先
岡山県生活環境部環境管理課
〒700-8570 岡山市内山下2-4-6
TEL(086)226-7301
E-mail kankanri@pref.okayama.lg.jp
URL http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=29